

一人一人が輝き、王桜中全員が輝いた！ 熱く燃え、心を一つにした体育祭！！

張 雄彦 体育祭特集



六月八日(土)、数日前には、雨の予報でしたが、青空の広がる運動会日和になり、本校、第九回体育祭が行われました。この日に向けて、王子小の運動会が終わった翌週から二週間、一生懸命、成功に向けて練習をしてきました。この日にいたるまでたくさんの方々が応援があり、一週目はなかなか気持ちが上がらず、組体操もダンスも全学年が一つにまとまるのが大変でした。しかし、本番が近づくと、三年生を中心に、一、二年生も少しずつモチベーションが上がってきました。組体操のタワーがなかなか上がらず、前日の放課後、タワーをどうするか、三年男子全員で話し合いが一時、「絶対にやるんだ!」という心を一つにした瞬間でした。当日は気合いが入って、開会式前に各クラスでエールの掛け合いが起きました。各学年の種目は熱く熱く燃え、真剣勝負、手に汗握る競技が繰り広げられました。

【ダンス】体育祭の練習期間は二週間。でも三年のダンス委員は五月の連休前から放課後、三年生の階の廊下で練習を開始していました。それから毎日『コール・ミー・バイビー』(カーリー・レイ・ジェプセン)の曲が流れ、振り付けを自分たちで一生懸命作り上げていました。二年生、一年生も三年生の考えた振り付けをマスターしていききました。そして当日、女子全員が一つの輪を作り、ダンス委員リーダーの斎藤さんの「いくぞ!」「オー!」のかけ声のもと、本番がスタートしました。イーガールズの「Follow Me」で始まり、メイン曲のカーリー・レイ・ジェプセンの「Call Me Maybe」に合わせ、総勢二百六十名の女子が、のびのびと弾けるような振り付けで、明るく楽しいダンスを披露しました。最後の曲、エグザイルの「999」では、私たち教師も加わり、一緒に楽しく練習もしたのですが、踊りました。三年女子が集まり、ダンス委員リーダーの松藤さんの「先生の御指導のおかげで頑張れました。ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。」と御礼の言葉、朝礼台上の松島先生は涙でした。

【組体操】組体操の最大の目標は最後のタワー。今年も四段トリプルトップ。当日の昼休み、タワーを組む三年生男子が体育館に集まり、本番前の最後の練習をしました。「絶対に成功させるんだ!」という気持ちを一つにして本番に望みました。いよいよ男子の組体操。最初の行進、集団行進の力強さ、緊張感あふれる演技、集中する全男子、大太鼓に合わせてきびきび動き、集団演技の美しさを見せました。見事に飛んだ飛行機、五段ピラミッドも見事成功、肩上ピラミッドもうまくいき、そして三年生全員による、スーパー四段トリプルトップ、二段目、三段目、四段目、三人トップへ、乗った!成功だ!応援の保護者の方々、見守る女子の拍手と歓声。団長の三年三沢君の「先生方の指導のおかげで、僕たちはここまで成長しました。感謝しています。これからもいろいろと迷惑をかけると思います。よろしくお願いします!」指導してくださった名取先生を三年男子が胴上げ、三年の先生方も、生徒たちの限りない未来への力を感ずる、素晴らしい演技を見せてくれました。

閉会式では、恒例となった生徒全員、教職員、おやじの会のお父さんたちが肩を組んで、心の限りの大きな声で校歌を歌いました。手を抜かない演技、力の限りの応援、王子桜中生の力を思う存分発揮した。そして、私たち教職員も生徒たちといっしょに燃えた、大成功の体育祭でした。最後まで観覧し、応援してくださいました保護者・地域の方々、卒業生、受付や接待をしてくださったPTAの皆様、開会前の準備や片付け、警備や自転車整理を担当してくださった、おやじの会のお父様方、大勢の皆様のおかげで、王子桜中体育祭が終わり、王子桜中体育祭が感謝申し上げます。

